

久しぶりに、子供を連れて、動物園に行ってきました。天気がよかった  
せいもあって、草の上で寝転ぶライオンやかわいらしいペンギンの姿を見て  
いると、晴れやかな気分になりました。また、幾つか発見もありました。

わたしは、らくだのこぶには水が入っていると思っていたのですが、こ  
れは間違いでした。飼育係の解説によると中身は脂肪で、エネルギー  
貯蔵庫の役割をしているそうです。その重さは、ヒトコブラクダで約50  
キロ、フタコブラクダは重いもので30キロもあります。食物が不足する  
と、この脂肪を分解してエネルギーを賄います。実際に長旅で何も食べ  
られないでいると、こぶは次第にしぼんで小さくなってしまいます。でも、  
食事と休息を取れば、こぶは2、3日で元に戻ります。水分は、血液中に  
蓄えていて、1週間は水を飲まずに生きていけるそうです。

象が鼻で水を飲むというのもわたしは勘違いをしていました。観察  
していて気がついたのですが、鼻で吸い上げて、口に注ぎ込んで飲ん  
でいました。飼育係の話では、象の鼻は非常に優れた筋力があるので、  
自由自在に動き、大きな木を倒したり、地面に落ちている落花生の  
ような小さな食物も拾い上げることができます。

チータのしっぽにも驚きました。長さが体長の半分ほどもあります。走  
るのが速いことはよく知られていますが、最高速度は100キロ  
以上。走行中は、しっぽがかじの役目をしています。